

平成31年度

社会福祉法人 景福会

事業計画書

平成31年3月11日

基本理念

「和顔愛語」

おだやかな笑顔(和顔)と、思いやりのある話し方(愛語)で人に接します。

基本方針

「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、以下を実践していきます。

1. 利用者様の人権を尊重し、安心安全なサービス・生活・ケア環境の向上を図り、社会・地域との関係の継続に努めます。そのために自立支援や重度化防止のための高い介護サービスを実現し、地域に貢献していきます。
2. 地域包括ケアの確立に取り組むとともに、地域における様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図り公益的な取り組みも進めていきます。
3. 良質な福祉人材の確保、福祉の仕事の啓発のための情報発信、福祉教育に取り組みます。

認知症介護理念

苛立ちや不安、不穏感が高まらないよう配慮します。

目線を合わせ、笑顔で会話をし、なじみの関係を作る努力をします。

束縛や禁止のない日常生活を過ごしていただき、そして自由を大切にするための努力をします。

平成31年度事業方針

今年度は消費税アップ、働き方改革関連法による「労働時間法制の見直し」・「正規・不正規雇用間の不合理な待遇差解消」等、収益を圧迫する要因が散見するなか、一方で介護・看護人材の不足から一部体制加算の取下げや、施設入所者の重度化による入退所の増加により収益が減少し厳しい状況下にあります。

今期は事業ごとに収支がプラスとなるように、外部の指導も受けながらそれぞれの課題点を解決して、独立採算運営をしていくための年として位置付けたいと思います。

特に収益の柱である唐孔雀園の改修をおこなうためにも他事業の収支改善が必要であり、また社会福祉法人として地域の公益的な役割を果たすためにも安定した経営が望まれ、一部不採算事業の撤退や見直し等整理する必要性を迫られています。

今年度収益面は増収計画を立てており、在宅部門(桜小規模、唐デイ・ショート)中心に利用者増加を見込んでいますが、唐孔雀園の防水工事等改修費用を予算計上しており、事業活動資金収支差でマイナスとなる予算計画をたてています。

人 事

(1)人員体制について

介護業界全体の人員不足の中、職員退職後の補充に難渋し、派遣による対応も現在難しくなってきています。また、働き方改革関連法による年 5 日間の有休の計画的付与等により、現行以上の人員確保が必要です。

新卒採用のための学校訪問、各種団体主催の福祉系求人面談会に積極的に参加して人材の確保に努めたいと思います。また、実習生の受入等を積極的におこない実習指導者と学校の担当教職員とのコミュニケーションも図っていき入職につなげていきたいと思えます。

特に桜花台園については前年度実施できなかった適正人員の効率的な配置をおこなうために、外部コンサルタントの導入を図り、同時に人件費面での収支改善を図っていきます。

(2)諸規程の見直しと処遇改善

働き方改革関連法の「同一労働・同一賃金」等の考え方から、現行の賃金体系の見直しも必要になってきており、正職員の定義および職員の処遇の改善を図るため処遇改善加算 I に示す「キャリアパス要件Ⅲ」(経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設ける)に沿って規程を見直していきます。

経 費

(1)10月からの消費税引き上げによりコストアップになります。各費目について、単価引下げ等交渉を行うとともに納入業者の見直しも行っていきます。

(2)車両については前期 4 台をメンテナンスリースで更新しましたが、今期も引き続き車検到来の車両で 10 年・10 万キロ超を目安としてリースで更新していきます。

(3)設備関係については、唐孔雀園は今期概算で予算計上していますが、外壁・屋上防水・配管等の建物維持に必要な改修及び利用者に必要な設備改修を設計会社の協力を仰ぎ優先順位を付けて複数年度で計画的に行っていきます。桜花台園は竣工後 13 年を迎え、外壁・屋根等の大規模修繕、各設備の見直しを行う必要があるため、次年度以降の改修計画の検討をしていきます。

地域貢献

(1)地域支援プロジェクト

31 年度は以下のとおり、計画しています。

介護予防教室 7、11、3 月の 3 回実施予定

料理教室 年 6 回を予定

地域・行政との連携

(2)青峰校区支え合い推進会議への参加

青峰校区の福祉介護担当として唐孔雀園職員 2 名を相談員として配置

今後も会議に参加し、「地域が必要としていること」「必要であろうと思われること」を提案、協力していきます。

(3)生活困窮者就労訓練事業への協力

生活困窮者就労訓練事業の受入事業所として、30 年度は 1 名の打診がありました。最終的に本人が就業訓練を拒み実現しませんでした。引き続き、同事業の委託先である「グリーンコープ」・「久留米市介護福祉サービス事業者協議会」と協力していきます。

(4)災害時のための支援体制

桜花台園は災害時福祉避難所になっています。地域との連携を図り具体的な体制等整備をしていきます。

各事業の基本方針等について

■唐孔雀園

○基本方針

・特養・ショート

唐孔雀園は、利用者様の尊厳をまもり、安心して生活を送って頂く場所です。私たち施設課職員は、利用者様により良い施設サービスの提供を目指し、安全面・衛生面に配慮し安心して過ごしていただけるように支援を行っていきます。

31年度も利用者様が、日々安心して穏やかな日常生活を送っていただけるように笑顔と思いやりの心もち、優しい温かみのある言葉掛けを行いながら、丁寧な介護を心掛け身体面・精神面の援助を行っていきます。認知症の利用者様については、当園の認知症介護の理念に沿った援助を行うことにより、笑顔で安心して過ごしていただくことで、認知症の進みが緩やかになるように支援していきます。その為にも職員全員が、介護技術や接遇マナーの向上に努め、他職種連携を深めることより良いサービスが提供できるように、資質の向上に努めていきます。

・デイサービスセンター

残存能力を活かし、住み慣れた地域で、生活が継続できるように支援いたします。

人格を尊重し、利用者の立場に立った満足できる質の高いサービスを提供します。

地域の各関係機関等と綿密な連絡と連携を図り、地域社会のニーズに対応したサービスを提供します。

重点項目

残存能力を、引き出し強化することで、豊かな在宅生活を支援します。

介護予防のため、一人一人に明確な目標を設定し、実現のための手助けをします。

身体的、精神的な状況・状態に即応したサービス提供で満足度アップに努めます。

職員一人一人が、常に明るい笑顔と感謝の気持ちを忘れずに利用者様に接します。

社会的孤立感の解消とご家族の身体的・精神的負担の軽減を図るように努めます。

職員の専門性・技術向上のため、外部研修への積極的に参加及び内部研修の充実を図ります。

・ケアマネジメント課

当事業所は、高齢となり介護が必要となった方々がかつてのように、そしてこれからもその人らしく自分の家で生活出来るように、最適な訪問サービスや通所サービス等を組み合わせ合わせた居宅サービス計画を作成すると共に、公正中立の立場でサービス事業者の選定及び調整や要介護認定の申請代行、サービス実施状況のフォローなどのケアマネジメントを目的とします。

運営方針

利用者の方が、その人らしく生活する姿勢を尊重し、そのために必要なケアマネジメントを行う。久留米市をはじめとする周辺自治体、そして地域の保健・医療・福祉機関・地域包括支援センターと連携し地域ケアの充実に貢献する。

■桜花台園

○基本方針

・特 養

一人ひとりの理解にたったユニットケアの基本である個別ケアを目指し、利用者の方が望まれる安心で穏やかに過ごせる居心地の良い生活を大切にします。

利用者が安心してゆとりのある生活を送ることができるようケアマネ、生活相談員、看護、介護、管理栄養士の連携はもちろん家族様や主治医、地域の方々との繋がりを大切にします。

・シヨート

在宅の生活に合わせたケアを目指し「桜花台園になら泊りに行ってもいい」と言われるように個別的な関わりを重視します。

生活支援のみならずその方の趣向や楽しみを見つけメリハリのある毎日が送れるように努めます。在宅での生活を把握し家族の介護負担や悩みを考慮し柔軟な受け入れを行い、担当ケアマネージャー、通所・訪問事業所との連携を大切にします。

帰宅願望が強い、精神的に不安で不穏状態の方への対応を模索し適切なケアを取れるように看護、介護、ケアマネージャーで協働します。

・小規模

利用者の在宅生活を支える為、一人ひとりと向き合い、気持ちに寄り添いながら生活力を楽しむ力(いきがいややりがい)を見出せるような支援に努めます。

地域行事や桜花台園で行う地域交流行事などを通して地域ネットワークを充実、拡大し、気軽に立ち寄れる温かみのある地域の集会所を目指します。

小規模多機能ホームだけで支えるのではなく生活環境やその方の思いを家族、地域などみんなで共有し在宅での生活を支援していきます。

・看護

入所者、利用者の重度化に伴い、疾病の管理や医療処置が多く求められています。

些細な変化の早期把握・早期対応により、重症化・重篤化を回避し、その人らしい健康な暮らしが維持できるように支援します。

職員の心身状況を把握し、ストレスへの対応や疾患の早期治療をすすめます。

感染対策において、今年度も感染予防に注力していきます。

■景福会栄養・地域配食課

○基本方針

食を提供する専門職として、利用者一人ひとりの意向や問題点を細やかに把握し、個人にあった効率的・効果的な栄養ケアの提供がより一層求められると同時に唐孔雀園、桜花台園は生活の場でもあります、毎日の食事を楽しんでいただくために、献立作成から喫食までの一連の食事や食事環境(食事の盛り付け、食器、適温適時、衛生管理)にも、利用者様のニーズが反映できるよう努めていきます。

また、景福会、南浜会と協力し、食を通して、地域とのつながり強化に努力し、施設内・地域・全ての方々から喜ばれ安心、安全な食事の提供を目標としていきます。